

神奈川県立大師高等学校
平成28年度 不祥事ゼロプログラム
検 証 結 果

課題と目標（達成すべき内容）

課題	目標（達成すべき内容）	検 証
1 法令遵守意識の向上	公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底	
2 わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ行為を未然に防止する。	
3 体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮し、体罰等が起こらないようにする。	
4 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	通知表、調査書、推薦書に関して、相互チェックによる事故防止	
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	パスワードの設定、誤廃棄防止、個人情報の管理	
6 交通事故、交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故を未然に防止する。 交通法規遵守、飲酒運転、酒気帯び運転を防止する。	
7 業務執行体制の確保等	情報共有、定期テスト、成績処理等相互チェック体制、業務協力体制を整える。	
8 会計事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行う。	

（検証欄： =実施）

実施と検証

1 事故防止全体会議及び打合せ 年間13回（内容：上記項目）

事故防止全体研修会 年間2回（内容：カリキュラム、私費会計、外国籍生徒への対応）

課題	検証のまとめ
1 法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を常に持って行動するよう伝えた。新聞記事や記者発表資料をもとに、意識啓発した。
2 わいせつ・セクハラ行為の防止	全体会議・研修会において、県からの啓発資料や事例を紹介することで、教育公務員としての自覚を促した。
3 体罰、不適切指導の防止	全体研修をとおして、生徒の人権に配慮した適切な生徒指導の徹底を図った。
4 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	通知表、調査書、推薦書に関して、相互チェック体制を強化するとともに、誤った文書を出さぬよう未然防止できた。
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	学校管理のUSB使用に対しては最低限の使用に限り使用を認めた。個人情報の扱いについては日頃より機会を作り指導の徹底を図った。
6 交通事故、公務外非行防止	全体研修をとおして、生徒の人権に配慮した適切な生徒指導の徹底を図った。
7 業務執行体制の確保等	情報の共有化、共通テストの浸透、成績処理等相互チェック体制、業務協力体制を強化し業務を効率化し生徒と向き合う時間が確保できるよう常に訴えた。
8 会計事務等の適正執行	年2回の監査によって、適正な私費の徴収・執行が行われたことが確認できた。また全体会議や打合せにおいて、執行手続き等の注意点等について周知し、適正運用の徹底を図った。